



日本外傷学会ニュースレター

July 2025 No.35

CONTENTS

第40回日本外傷学会総会・学術集会(第1次会告)	1
公示(次期評議員選出の審査, 申請のお知らせ)	2
2025年度日本外傷学会専門医新規審査 日程予告	3
日本外傷学会 2025年度専門医研修施設(新規・更新)認定審査および申請手続きについて	4
議事録	5
各種お知らせ(年会費納入のお願い / 事務局からのお知らせ)	12
日本外傷学会 入会のご案内	14

第40回日本外傷学会総会・学術集会（第1次会告）

第40回日本外傷学会総会・学術集会

会長 井口 浩一

（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

会 期 : 2026年6月11日（木）～12日（金）

会 場 : 大宮ソニックシティ
（〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5）
JR 大宮駅西口より徒歩約3分

テーマ : Harmony in diversity

予定プログラム : 1) 特別講演
2) 教育講演
3) シンポジウム
4) パネルディスカッション
5) ワークショップ
6) 若手医師・学生セッション（公募演題）
7) 他学会合同セッション（指定演題）
8) 委員会企画セッション（指定演題）
9) KST シンポジウム（指定演題）
10) 一般演題（公募演題）

上記プログラム以外にも、各種セミナーを予定しています。
講演内容が決まり次第、随時ホームページにてお知らせいたします。

演題募集期間 : 2025年11月12日（水）～2026年1月12日（月）予定

ホームページ : <https://www.congre.co.jp/jast2026>

運営事務局 : 株式会社コングレ内
〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング
TEL : 03-3510-3701
E-Mail : jast2026@congre.co.jp

公 示

次期評議員選出の審査，申請のお知らせ

一般社団法人 日本外傷学会
代表理事 渡部 広明
評議員選出委員会
委員長 原 義明

定款第 2 章第13条，定款施行細則第 1 章，第 2 章，第 4 章，第 5 章により評議員を選出いたします。

1. 資格

定款施行細則第 2 条に定める者とする。

2. 評議員数

選出される評議員の総数 最大約214名（評議員総数は正会員の10%程度：定款施行細則，第 1 条）
現在の評議員数は197名で，正会員の10%程度に達していません。
評議員候補者の資格要件を満たす方は，応募してください。

3. 審査手順

評議員審査の手順は以下のとおりです。

評議員審査申請書の受理期間	2025年 9 月 1 日～ 9 月30日（消印有効）
評議員選出委員会の審査	2025年11月頃
理事会による承認	2025年12月頃
今回選出される評議員の任期	2026年 4 月 1 日より2030年 3 月31日まで

4. 申請書

評議員審査申請用紙を必要とする会員は，学会ホームページから申請書をダウンロードし，必要事項を記入して簡易書留やレターパックなど配達記録の残る方法で事務局へお送りください。

5. お問い合わせ先

一般社団法人 日本外傷学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 階
(株)春恒社 学会事業部内
TEL：03-5291-6259 FAX：03-5291-2176
E-mail：jast@shunkosha.com

2025年度 日本外傷学会専門医新規審査 日程予告

一般社団法人 日本外傷学会
代表理事 渡部 広明
専門医認定委員会
委員長 伊澤 祥光

2025年度 日本外傷学会専門医新規審査の申請書類受付期間と筆記試験日をお知らせいたします。

申請書類受付期間：2025年11月 1 日(土)～12月10日(水) 当日消印有効

筆 記 試 験 日：2026年 3 月 1 日(日)

なお、2025年度の申請資格者は、2020年12月10日までに入会した学会員といたします（規則第3章第6条2項）。

日本外傷学会2025年度専門医研修施設（新規・更新） 認定審査および申請手続きについて

一般社団法人 日本外傷学会
代表理事 渡部 広明
専門医研修施設認定委員会
委員長 水島 靖明

一般社団法人日本外傷学会は、2025年度の外傷専門医研修施設認定審査（第16回新規・第13回更新）を本学会専門医制度規則・同施行細則に基づいて実施いたします。

なお、審査に関する詳細については日本外傷学会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

申請を希望される施設は、同ホームページにて、本学会専門医制度規則・同施行細則ならびに申請手引きをご確認のうえ、締切日までに申請手続きを行ってください。

一般社団法人日本外傷学会2024年度第3回定例理事会議事録

日 時：2024年9月18日（水） 12：30～15：30

会 場：WEB 会議（Zoom による WEB 会議）＋春恒社会議室

出席理事：井上 潤一，井上 貴昭，井口 浩一，大友 康裕，加地 正人，久志本成樹，原 義明
船曳 知弘，水島 靖明，溝端 康光，森下 幸治，横堀 將司，渡部 広明

出席監事：金子 直之，森村 尚登

事務局：今井 智将，齋藤 咲良

オブザーバー：齋藤 大蔵（トラウマレジストリー検討委員会元委員長・JTCR 理事）

1. 2024年度第1・2回理事会，社員総会議事録(案)の確認

渡部広明代表理事より修正事項があれば事務局まで申し出るよう要請があった。特に指摘はなく，そのまま承認となった。

2. 会務報告

水島靖明庶務担当理事より，2024年7月31日現在での会員状況が報告された。新入会者計39名の入会が審議され，承認された。また，自動退会候補者72名については，9月末日をもって退会処理を進めることとした。

3. 学術集会 抄録集のペーパーレス化に関して

原義明広報・ICT 委員長より，抄録集のペーパーレス化について提案され，承認された。原義明委員長は第39回日本外傷学会総会・学術集会の会長であるため，同会では紙媒体も用意し，希望者に配布予定であることが述べられた。

4. 第39回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2025年5月15日～5月16日

会場：有明セントラルタワーホール&カンファレンス

会長：原 義明（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）

テーマ：Beyond the Theory

原義明会長より，上級セッションや教育講演等の準備状況について報告された。

5. 第38回日本外傷学会総会・学術集会収支報告について

溝端康光会長より，第38回日本外傷学会総会・学術集会収支について報告された。全体として，約670万円の黒字決算となったため，学会本部へ戻入いただけることが述べられた。

6. DSTC/DATC コースへの学会後援の依頼について

溝端康光会長より，DSTC/DATC コースへの学会後援の依頼があり，承認された。依頼内容は，学術集会の戻入金約670万円から，学会本部からの補助金300万円を差し引いた約370万円を，DSTC/DATC コースの開催支援に充てるというものである。補助金の予算について協議の結果，毎年度60万円を予算に計上し，約6年間にわたって支援を行うことが決定された。また，開催支援の特典として，本学会の会員に対して優先枠を設けていた

だくこととなった。

7. 日本外傷学会略称案について

渡部広明代表理事より，日本外傷学会略称案について述べられた。現行の本学会名の英文名である「The Japanese Association for the Surgery of Trauma」の「Surgery」は実態とそぐわないとの意見があり，協議が行われた。略称である「JAST」については継続の方向で議論が進められた。また，英文名変更の進め方については，定款変更のため，社員総会で承認を得る必要があり，評議員向けに英文名変更の周知および，候補について意見の募集を行うこととなった。新しい英文名の案としては「Japan Academic Society for Trauma」が良いとする意見が多数あがった。

8. 抗破傷風人免疫グロブリン製剤における不採算品再算定申請に係る御礼について

渡部広明代表理事より，以前に抗破傷風人免疫グロブリン製剤における不採算品再算定申請について理事会審議が行われ，当学会から要望書を提出した件について，一般社団法人日本血液製剤機構より御礼状の送付があったことが報告された。

9. 日本赤十字社よりアンケートについて

渡部広明代表理事より，日本赤十字社本社にて血液製剤開発にあたり会議が開催され，本学会より渡部広明代表理事および久志本成樹理事，大友康裕理事（日本救急医学会との兼任）の3名が出席したことが報告された。会議内容としては，血液製剤開発にあたり3種類の候補の中から，優先的に開発すべき製剤を決定すべく，意見の聴衆および議論が行われた。また，会員向けのアンケートの依頼があり，本学会員は日本救急医学会との重なりが多いことから，同学会と合同でアンケートを実施し，1施設につき1つの回答を，本学会もしくは日本救急医学会のどちらかに提出いただく。理事会ではアンケート案が確認された。

10. 自動退会棄却願い書について

水島靖明庶務担当理事より，2件の自動退会棄却願いについて報告され，会費滞納期間が直近5年以内であることが確認された上で，復会が承認された。

11. 各種委員会報告および活動計画

1) 評議員選出委員会

報告事項は特になし。

2) 会則委員会

井上貴昭委員長より、外傷診療施設機能評価制度規則及び施行細則案について、委員会内でメール審議を行い、外傷診療施設評価委員会へ意見書を提出したことが報告された。

3) 編集委員会

溝端康光担当理事より、2024年度第1回編集委員会および、2024年投稿論文数・現況や2024年第38巻1～4号掲載予定数等について報告された。

4) 用語委員会

井上貴昭委員長より、日本外傷学会用語集改訂4版の発刊計画について提案され、冊子媒体での発刊に向けて改訂作業を進めることとなった。

5) トラウマレジストリー検討委員会

加地正人担当理事より、2024年度第1回トラウマレジストリー検討委員会について下記内容が確認されたことが報告された。

- JTDB 配布データについて、アニュアルレポートは2025年1月に配布予定

- AIS セミナーを年間2回開催

- JTDB トラウマレジストリー検討委員会の定期開催（2ヵ月に1回）

- 研究者からの問い合わせ事項を委員会内で共有し、Q & Aに掲載

- PATOS (Pan-Asian Trauma Outcome Study) の状況について

- JTDB 大規模言語モデル LLM を用いた自動入力について

- テーマごとの小グループに分けての活動を行っていく予定

また、齋藤大蔵元委員長・JTCR 理事より、JTDB 国際化に向けての一提案として、PATOS (Pan-Asian Trauma Outcome Study) との連携について説明が行われた。理事会では、費用は無料であることや、今後のデメリット等について確認された上で、国際化や交渉案について承認された。

6) 外傷診療施設評価委員会

渡部広明委員長より、規則および同施行細則について報告があり、10月中旬頃より申請受付開始することが述べられた。

7) 外傷研修コース開発委員会

横堀将司委員長より、2024年度活動報告と今後の開催予定について報告があった。

【2024年度活動報告】

第21回 日時：2024年7月15日（月・祝）

9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

受講者数：24名

【今後の開催予定】

第22回 日時：2024年9月29日（日）9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院

第23回 日時：2024年12月22日（日）9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

第24回 日時：2025年3月9日（日）9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院

8) 臓器損傷分類委員会

金子直之担当監事より、膀胱損傷分類の改訂案について報告された。

9) 倫理委員会

報告事項は特になし。

10) 利益相反管理委員会

報告事項は特になし。

11) 多施設臨床研究委員会

特になし。

12) 専門医制度委員会

船曳知弘委員長より、2024年度第1回専門医制度委員会にて、定年を迎えた外傷専門医への対応および新カリキュラム制度への対応について、審議が行われたことが報告された。

12-1) 研修カリキュラム委員会

報告事項は特になし。

12-2) 専門医認定委員会

金子直之担当監事より、専門医試験日の日程調整等の準備状況について報告された。

12-3) 資格試験作成委員会

報告事項は特になし。

12-4) 専門医研修施設認定委員会

水島靖明委員長より、外傷診療実績について、今年度より症例の提出が、外傷データバンクへ本登録したデータに変更されたことが報告された。

13) 保険委員会

井口浩一委員長より、令和8年診療報酬改定に向けた外科系学会社会保険委員会連合（以下「外保連」）の要望項目アンケートを行ったことが報告された。

14) 損保助成金事業対象施設選考委員会

第4回持ち回り理事会にて2024年度救急医療機器購入補助金対象施設の選考結果について全会一致で承認されたことが報告された。

※井上貴昭担当理事離席のため、渡部広明代表理事より代理報告

15) 国際委員会

森下幸治委員長より、PPTC2025 (KTS-JAST committee meetings) について、Jong-Keon Oh 先生へ問い合わせを行っていることが報告された。また、7th World Trauma Congress (September 11th - September 13th,

2024) Las Vegas, U.S.A が行われ、渡部広明代表理事をはじめ、多くの日本人が参加したことが述べられた。G4 Alliance for NGOs 加盟については、費用対効果が見込まれないことから断念することとなった。

16) 会員制度検討委員会

船曳知弘委員長より、外傷認定医創設に向けた検討状況や、日本救急医学会救急外来部門検討委員会からのアンケート調査に関して報告された。

17) 広報・ICT 委員会

報告事項は特になし。

18) マスギャザリングイベント対応委員会

報告事項は特になし。

19) インド外傷センター協力支援合同委員会

報告事項は特になし。

20) 外傷治療ガイドライン作成委員会

委員会が開催され、委員が決定し10ブロックの小委員会のメンバーもおおむね決定したことが報告された。また、委員の派遣にあたり、約10学会の代表理事と覚書を交わし、他領域・他学会との連携が確立されていることが述べられた。今後はワーキンググループおよびシステムティックレビューのチームが発足するため、それぞれ

連携し活動を進めていく。

※横堀將司委員長離席のため、渡部広明代表理事より代理報告

12. 第40回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2026年6月11日(木)～6月12日(金)

会場：大宮ソニックシティ

会長：井口 浩一（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

テーマ：「Harmony in diversity」

13. 第41回日本外傷学会総会・学術集会の件

水島靖明理事より、第41回学術集会の大会長について渡部広明代表理事が推薦され、承認された。2025年5月開催の社員総会で審議されることとなった。

14. 入会フォーム導入について

事務局より、入会フォーム導入について説明が行われ、承認された。

15. その他

議長 渡部 広明

議事録署名人 代表理事 渡部 広明

監事 森村 尚登

一般社団法人日本外傷学会2024年度第4回定例理事会議事録

日 時：2024年12月17日（火） 12：30～15：30

会 場：WEB 会議（Zoom による WEB 会議）＋春恒社会議室

出席理事：井上 潤一、井上 貴昭、井口 浩一、加地 正人、久志本成樹、原 義明、船曳 知弘
水島 靖明、溝端 康光、森下 幸治、横堀 將司、渡部 広明

出席監事：金子 直之

欠席理事：大友 康裕

欠席監事：森村 尚登

事務局：今井 智将、齋藤 咲良

1. 2024年度第3回理事会議事録(案)の確認

渡部広明代表理事より修正事項があれば事務局まで申し出るよう要請があった。特に指摘はなく、そのまま承認となった。

2. 会務報告

水島靖明庶務担当理事より、2024年10月31日現在の会員状況が報告された。新入会者計15名の入会が審議され、承認された。また、自動退会候補者109名については、2025年9月末日をもって退会処理を進めることになるため、事務局よりメール配信で注意喚起を行う。

3. 抗破傷風人免疫グロブリン製剤の継続供給に関する要望書について

渡部広明代表理事より抗破傷風人免疫グロブリン製剤

の継続供給に関する要望書を日本救急医学会と連携して提出することを提案し、承認された。

4. DSTC/DATC-Japan コース予算案について

溝端康光理事より第19回 DSTC/DATC-Japan コース決算報告をされた。6,440,000円の収入、6,121,945円の支出となり318,055円の黒字となった。第20回 DSTC/DATC-Japan コース予算案では、6,870,000円の収入、7,688,000円の支出となり818,000円の赤字であり、第19回 DSTC/DATC-Japan コースと当学会からの補助金60万円で賄う予定であることを報告された。

5. 各種委員会報告および活動計画

1) 評議員選出委員会

原義明委員長より、評議員追加選出6名が提示され承

認された。

2) 会則委員会

井上貴昭委員長より、外傷認定指導医制度規則・同細則について、委員会内で審議を行ったことを報告された。

3) 編集委員会

溝端康光担当理事より、2024年投稿論文数・現況や2024年第38巻1～4号掲載予定数、採択状況等について報告された。

4) 用語委員会

井上貴昭委員長より、日本外傷学会用語集改訂4版を2026年総会を目途に発刊する計画であると報告された。また、他学会の用語集改訂の期間が確認された。

5) トラウマレジストリー検討委員会

加地正人担当理事より、PATOSについて次回理事会にて報告できる予定と述べられた。

6) 外傷診療施設評価委員会

渡部広明委員長より、2024年10月4日～2024年12月24日に今年度申請受付をしていることが述べられた。

7) 外傷研修コース開発委員会

横堀将司委員長より、2024年度活動報告と今後の開催予定について報告をされた。

【2024年度活動報告】

第21回 日時：2024年7月15日（月・祝）

9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

受講者数：24名

第22回 日時：2024年9月29日（日）9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院

受講者数：17名

【今後の開催予定】

第23回 日時：2024年12月22日（日）9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

第24回 日時：2025年3月9日（日）9：00～17：30

会場：大阪けいさつ病院

8) 臓器損傷分類委員会

金子直之担当監事より、臓器損傷分類改訂をメールで行ったが、改定検討箇所が多く、近日中に対面で実施することを報告された。

9) 倫理委員会

報告事項は特になし。

10) 利益相反管理委員会

報告事項は特になし。

11) 多施設臨床研究委員会

久志本成樹担当理事より、REDCapで利用しているAmazon Web Services（AWS）の利用料を現在の個人立替ではなく、当学会法人カードを作成し、AWS利用料を直接支払う形に変更する提案がなされ、承認された。

12) 専門医制度委員会

船曳知弘委員長より、定年を迎えた外傷専門医への対

応および外傷認定指導医制度規則・同細則について、委員会内で審議を行ったことを報告された。審議の結果、承認され、会員に新制度のアナウンスを行うことになった。

12-1) 研修カリキュラム委員会

報告事項は特になし。

12-2) 専門医認定委員会

報告事項は特になし。

12-3) 資格試験作成委員会

渡部広明委員長より、2024年12月12日～2024年12月13日に試験作成を行ったことを報告された。

12-4) 専門医研修施設認定委員会

水島靖明委員長より、下記報告がなされ、承認された。

2024年度新規申請が4施設よりあり、下記3施設認定された。また、更新対象施設は計20施設であった。このうち、専門医不在の2施設は更新を辞退。18施設を対象の審査が行われ下記17施設更新が認定された。

認定新規施設（対象3施設）

・一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院

・信州大学医学部附属病院

・沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

認定更新施設（対象17施設）

・社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

・川口市立医療センター

・前橋赤十字病院

・社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院

・健和会大手町病院

・京都第二赤十字病院 高度救命救急センター

・東京都済生会中央病院

・長崎大学病院

・関西労災病院

・恩賜財団 済生会宇都宮病院

・聖路加国際病院

・国保直営総合病院 君津中央病院

・高知赤十字病院

・地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター

・自治医科大学附属病院

・岡山大学病院

・小牧市民病院

13) 保険委員会

井口浩一委員長より、令和8年診療報酬改定に向けた要望項目アンケートを外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に提出した。外保連の手術委員会において「骨折観血的整復固定術・肋骨」技術度Cだった術式を、「骨折観血的整復固定術・肋骨（3本まで）」技術度Dに格上げし、改正項目として要望申請し、「骨折観血的整復固定術・肋骨（4本以上）」を技術度Dの新設項目として、ふたつに分けることが決まり、厚労省に要望する予定で

あることが報告された。

14) 損保助成金事業対象施設選考委員会

報告事項は特になし。

15) 国際委員会

森下幸治委員長より、PPTC2025 (KTS-JAST committee meetings) について、Jong-Keon Oh 先生と ZOOM 会議されたことを報告された。

16) 会員制度検討委員会

船曳知弘委員長より、外傷認定医制度規則・同施行細則、キャリアイメージ、教育セミナーの分野について提示された。専門医機構に認定される前に認定医を新設することについて反対意見があった。また、日本救急医学会救急外来部門検討委員会との協働アンケート「救急外来部門に従事する救急医における外傷診療に対する興味と自身の調査」の中間報告をなされた。

17) 広報・ICT 委員会

原義明委員長より、ペーパーレス化に伴う定款変更の可否を会則委員会に検討をお願いされた。学会ホームページを刷新するべく、事業者選定のコンペティションを近日中に開催すると報告された。

18) マスギャザリングイベント対応委員会

報告事項は特になし。

19) インド外傷センター協力支援合同委員会

報告事項は特になし。

20) 外傷治療ガイドライン作成委員会

小委員会に分かれてアクティブに動いていることを報告された。

※横堀將司委員長離席のため、渡部広明代表理事より代理報告

6. 第39回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2025年5月15日(木)～5月16日(金)

会場：有明セントラルタワーホール&カンファレンス

会長：原 義明（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）

テーマ：「Beyond the Theory」

原義明会長より、上級セッションや教育講演等の準備状況について報告された。

7. 第40回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2026年6月11日(木)～6月12日(金)

会場：大宮ソニックシティ

会長：井口 浩一（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

テーマ：「Harmony in diversity」

8. 第41回日本外傷学会総会・学術集会の件

渡部広明会長より、出雲か松江にて開催予定であることが報告された。

9. コンビニ決済導入について

事務局より、コンビニ決済導入について説明が行われ、承認された。

10. その他

議長 渡部 広明

議事録署名人 代表理事 渡部 広明

監事 金子 直之

一般社団法人日本外傷学会2024年度第5回定例理事会議事録

日 時：2025年3月18日（火） 12：30～15：30

会 場：WEB 会議（Zoom による WEB 会議）＋春恒社会議室

出席理事：井上 貴昭，井口 浩一，大友 康裕，加地 正人，久志本成樹，原 義明，船曳 知弘
水島 靖明，溝端 康光，森下 幸治，横堀 將司，渡部 広明

欠席理事：井上 潤一

出席監事：金子 直之，森村 尚登

事務局：今井 智将，齋藤 咲良

1. トラウマレジストリー検討委員会

青木誠副委員長より、JTDB に関する下記予算申請がなされ、承認された。

・各施設 JTDB データダウンロード時の症例ごとの Max AIS 計算機能配備・JTDB 新規データ追加について（10万円）

・配布データの1次、2次クレンジング作業について（20万円）

2. 2024年度第4回理事会議事録(案)の確認

渡部広明代表理事より修正事項があれば後ほど申し出るよう要請があった。特に指摘はなく、そのまま承認された。

3. 会務報告

水島靖明庶務担当理事より、2025年2月28日現在での会員状況が報告された。新入会者計53名の入会・申出退会21名の退会であった。

年会費が3年間未納の長期滞納者の一覧が報告され、理事監事より年会費納入のお声掛けをいただくことに加え、事務局から対象者にメール配信を行うことになった。また、ネットバンキングから納入ができることを周知することになった。

4.

5. 国内外傷診療研修制度新設について

渡部広明代表理事より、国内外傷診療研修制度新設について提案し、承認された。新規委員会を立ち上げ、募集要件や条件を作成することになった。

6. 2024年度事業報告案

水島靖明庶務担当理事より、2024年度事業報告として、会員異動状況・理事会・社員総会・総会・委員会等の会議開催等の報告がなされ、承認された。

7. 2024年度決算見込み審議

水島靖明庶務担当理事より、2024年度収支決算について報告された。ホームページ改修費用が今年度はかからなかったことや委員会の会議費、交通費の支出が少額であったことなどが報告された。

8. 名誉会員・功労会員の推戴について

名誉会員として、大友康裕理事（国立病院機構災害医療センター）、久志本成樹理事（東北大学病院）、功労会員として、岩瀬正顕評議員（関西医科大学総合医療センター）、松田潔評議員（道志村国民健康保険診療所）、三宅康史評議員（帝京大学）が推戴され理事会にて承認された。

9. 各種委員会報告および活動計画

1) 評議員選出委員会

報告事項は特になし。

2) 会則委員会

井上貴昭委員長より、定款および定款施行細則の改定案が提示され、承認された。2025年度社員総会で定款改訂を行うことが確認された。

3) 編集委員会

溝端康光担当理事より、2025年投稿論文数・現況や2025年第39巻1～4号掲載予定数、採択状況等について報告された。

4) 用語委員会

井上貴昭委員長より、用語集改訂第4版発刊に向けて進んでいくことを報告された。

5) トラウマレジストリー検討委員会

議題1にて審議済

6) 外傷診療施設評価委員会

渡部広明委員長より、65施設からの申請があったことを報告された。また、審査から認定までのスケジュール案が提示された。

7) 外傷研修コース開発委員会

横堀將司委員長より、2024年度活動として、以下のJETEC コースの開催と2025年度活動予定が報告された。

【2024年度活動】

第21回 日時：2024年7月15日（月・祝）

9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

受講者数：24名

第22回 日時：2024年9月29日（日）9：00～17：30

会場：大阪警察病院

受講者数：17名

第23回 日時：2024年12月22日（日）9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

受講者数：24名

第24回 日時：2025年3月9日（日）9：00～17：30

会場：大阪警察病院

受講者数：23名

【2025年度活動】

第25回 日時：2025年6月22日（日）9：00～17：30

会場：国際医療研究センター

第26回 日時：2025年9月14日（日）9：00～17：30

会場：大阪警察病院

第27回 日時：2025年12月21日（日）9：00～17：30

会場：大阪警察病院

第28回 日時：2026年3月8日（日）9：00～17：30

会場：国立国際医療研究センター

8) 臓器損傷分類委員会

金子直之担当理事より、膀胱損傷分類案作成に向けて進んでいくことを報告された。

9) 倫理委員会

報告事項は特になし。

10) 利益相反管理委員会

報告事項は特になし。

11) 多施設臨床研究委員会

報告事項は特になし。

12) 専門医制度委員会

船曳知弘委員長より、専門医認定制度について検討すると報告された。

12-1) 研修カリキュラム委員会

報告事項は特になし。

12-2) 専門医認定委員会

金子直之担当理事より第17回専門医新規認定結果、第12回専門医更新認定審査結果について報告された。

専門医認定審査（新規）に17名の申請があり、9名が合格されたと報告され、承認された。また、専門医認定審査（更新）に43名の申請があり、36名が合格、2名が留保、1名が猶予、4名が保留されたと報告され、承認された。

12-3) 資格試験作成委員会

報告事項は特になし。

12-4) 専門医研修施設認定委員会

報告事項は特になし。

13) 保険委員会

井口浩一委員長より、令和8年診療報酬改定に向けて順調に進んでいることが報告された。

14) 損保助成事業対象施設選考委員会

報告事項は特になし。

15) 国際委員会

森下幸治委員長より、PPTC2025と第39回日本外傷学会で行われる JAST-KST のジョイントセッションについて報告された。

16) 会員制度検討委員会

報告事項は特になし。

17) 広報・ICT 委員会

原義明委員長より、学会ホームページリニューアルの業者選定コンペティションが4月に行われることを報告された。

18) マスギャザリングイベント対応委員会

報告事項は特になし。

19) インド外傷センター協力支援合同委員会

報告事項は特になし。

20) 外傷治療ガイドライン作成委員会

渡部広明代表理事より、外傷治療ガイドライン作成に向けた、作成と取り決め、組織編制、スケジュールを報告された。

10. 2025年度事業計画案審議

水島靖明庶務担当理事より、2025年度事業計画として、理事会・社員総会・会員総会の開催予定、日本外傷学会機関誌の発行予定、日本外傷学会ニュースレターの発行予定等について提案され、承認された。

11. 2025年度予算大綱審議

水島靖明庶務担当理事より、2025年度収支予算案について報告された。

12. 第38回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2024年4月25日～4月26日

会場：大阪市中央公会堂

会長：溝端 康光（大阪公立大学大学院医学研究科救急医学）

テーマ：「有備無患 ～個人・チームの能力向上と体制の構築～」

溝端康光会長より、決算書を提示し承認された。

13. 第39回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2025年5月15日～5月16日

会場：有明セントラルタワーホール&カンファレンス

会長：原 義明（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）

14. 第40回日本外傷学会総会・学術集会の件

会期：2026年6月11日（木）～6月12日（金）

会場：大宮ソニックシティ

会長：井口 浩一（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

15. その他

特になし。

議長	渡部 広明
議事録署名人	代表理事 渡部 広明
監事	金子 直之
監事	森村 尚登

論文を投稿される方へ

日本外傷学会雑誌へ投稿される論文はすべて、編集委員長がその論文の内容から適切と考え、ご依頼申し上げる3名の査読者により厳正に審査されます。審査の過程で著者と査読者の間で数回の文書の往復があるのは通常のことです。しかし、もし著者の主張と査読者の主張がどうしても相容れない場合は、本誌編集委員会は「編集委員長へのアピール」として著者の主張を受け付けることにいたしました。その際は、「日本外傷学会編集委員会委員長へのアピール」と明記のうえ、主張されるところを本学会事務局へメールまたは郵送にてお送りください。

一般社団法人 日本外傷学会
編集委員会委員長 佐々木淳一

年会費納入のお願い

2024年度年会費未納の先生方はお早めに納入くださいますようお願い申し上げます。
なお、退会を希望される場合は、会費完納のうえ、その旨を文書にて事務局までご連絡ください。

●年会費●

正会員10,000円

評議員は正会員年会費のほかに、年額10,000円の評議員会費をあわせてお納めください。

一般社団法人 日本外傷学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12
新宿ラムダックスビル
(株)春恒社 学会事業部内
TEL 03-5291-6259
FAX 03-5291-2176
E-mail jast@shunkosha.com

事務局からのお知らせ

【年会費について】

年会費はその年度内にお納めいただけますようお願いいたします。なお、2年間滞納しますと自動退会となります。

【住所変更について】

住所変更フォームよりお申し込みください。

<https://x.gd/53EJK>



※フォームをご利用になれない場合は事務局までご連絡ください。

1. 会員番号は本会からの郵便物宛名の下のアルファベット-4桁の数字（例. K-0246）となります。
2. 氏名、勤務先、自宅連絡先は省略せず、正確にご記入ください。

【バックナンバー販売について】

日本外傷研究会誌および日本外傷学会雑誌のバックナンバーの購入をご希望の方は、日本外傷学会事務局にお申し込みください。在庫がある場合は販売いたします。定価2,200円（本体2,000円＋税10%）です。

上記事項のお問い合わせは、日本外傷学会事務局までお願いいたします。

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12

新宿ラムダックスビル

(株)春恒社 学会事業部内

TEL 03-5291-6259 FAX 03-5291-2176

E-mail jast@shunkosha.com

URL <https://www.jast-hp.org/>

日本外傷学会 入会のご案内

1. 入会フォームよりお申し込みください。
<https://mypage.sasj2.net/site/jast/signup>



2. **年会費：10,000円**
以下の口座まで会費の納入をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 00160-8-412578

その他銀行 ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）店
当座 0412578

口座名義 一般社団法人日本外傷学会
(シヤ) ニホンガ イショウカ ッカイ

※個人の特定のため、お振込み名義は入会申込者名（フルネーム）としてください。

※当学会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までです。

例えば3月に入会した場合、3月は本年度の年会費をご納入いただき、4月以降、次年度の年会費を新たにご納入いただくことになります。

評議員や専門医への申請の際、会員歴を審査の対象とする点をご考慮の上、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

※年会費納入をもって正式入会となり、お納めいただいた日が「入会日」となります。

日本外傷学会ニュースレター

July 2025 No.35

2025年7月20日発行

編集兼発行 一般社団法人 日本外傷学会

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル

株式会社春恒社 学会事業部内

TEL : 03-5291-6259 FAX : 03-5291-2176

E-mail : jast@shunkosha.com

URL : <https://www.jast-hp.org/>

日本外傷学会雑誌39巻3号（オンラインジャーナル） 発行のお知らせ

2025年7月20日に、日本外傷学会雑誌39巻3号（Journal of the Japanese Association for the Surgery of Trauma, Vol.39, No.3）が、オンラインジャーナルとしてJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム；独立行政法人科学技術振興機構）に公開されました。

J-STAGEへ掲載された論文は会員以外の方にも閲覧可能となっております。今後はより多くの臨床医・医学研究者の方が本学会雑誌の論文を目にすることになりますので、益々多くの論文をご投稿くださいますようお願い申し上げます。

〔日本外傷学会雑誌オンラインジャーナル〕

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjast/-char/ja/>

一般社団法人 日本外傷学会
編集委員会委員長 佐々木淳一

目次

症例報告

重症鈍的胸部外傷に併発した最上肋間動脈損傷による出血性ショックに対して、DCSとDC-IRを並行して行い救命した一例

…………… 島根大学医学部附属病院高度外傷センター 恩田 禎子，他…295

遅発性に発症した鈍的外傷による直腸穿孔の1例

…………… 北九州市立八幡病院救命救急センター外科 山吉 隆友，他…302